

こんにちは

-No. 46

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



新年!

気持ち新たに “思い込み” も更新



新しい年がやってきました。明るいニュースであふれる年にしたいですね!

年末、ふと小学生の頃の出来事を思い出しました。

担任の男の先生がピンクのトレーナーを着てきた日、クラスは騒然。「先生!なんでピンクなの!?」「変だよー」「ピンクは女の子の色!」私たちの言葉に対して先生は「先生は、この色が好きなの」と一言。子「うそ~!」

「女の子は…」「男の子は…」と、子どもの頃から思い込まされてきた「常識」ですね。

最近ではこんなこともありました。



我が子の男女混合名簿を見ていた時のこと。名前を見ながら「△△さんは女の子?男の子?」と聞く私に「女の子だけど?」「男の子だけど?」と、ぶっきらぼうに答える我が子。繰り返すうちに「それに何の意味があるの?」と、問われているように感じ、ハッ!としました。この答えに私は何を求め、その人の何がわかるのかな…と。



性別、職業、障がい、国籍…社会が作り出した枠にとらわれ、気付かないうちに染み込んでいる様々な思い込み。皆さんには、こうした経験はありませんか?

~みんなちがって、みんないい♡

本当に必要な人に支援は

届いているのでしょうか?

国の方針が2転3転した、子育て世帯への10万円給付。東村山市は10万円一括支給の方針を決めました。12月議会の議論の中で、私たち日本共産党はその点を評価しつつも、お子さんを養育する方に確実に10万円を届けるよう配慮を求めました。支給対象となる基準日は9月30日。その後、家庭の事情(離婚、別居等)が変わった方など、個別の対応が必要な方がいらっしやるはずで

同じく12月議会で決まった、国民健康保険加入者への出産育児一時金の増額。一層の増額が望まれるところではありますが、課題は一時金の受取りが出産者本人ではなく、「世帯主」であることです。様々な家庭があり、近隣自治体では出産者本人が受け取れるところもあります。その点を検討するよう求めました。

確実に支援を届けるために、皆さんの声を届けてまいります。



活動報告・今後の日程

12月16日 「STOP!インボイス」財務省との懇談

インボイス制度の中止や見直しを求めるフリーランスの方々と、財務省との懇談に参加。参加された皆さんからは、今後の仕事や将来への不安が赤裸々に語られました。「国の制度が、国民の未来を不安にさせるなんて、とんでもない!」

(裏面につづく…)



1月6日 日本共産党市議団新春宣伝

5人の市議団で13町を、市議会報告も兼ねて回ります。

2月11日 東村山を変える超党派議員連盟議会報告会

オンライン参加も可能です。上記記載の連絡先までご連絡ください。(感染状況によって、変更となる場合もあります)



議会報告会

◎東村山駅西口サンパルネ 2階
コンベンションホール

2022年2月11日(金) 14:30~

榎本直子 さとう直子 山田たか子 渡辺みのる
浅見あづり 藤岡幸志 山口みよ

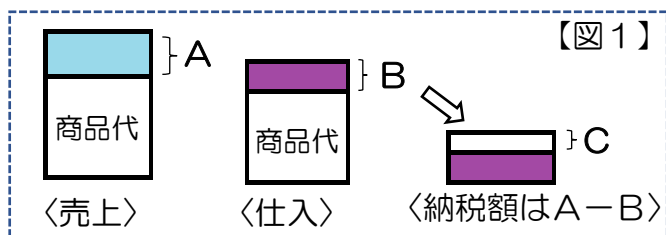


中小事業者の存続危機！？ 《インボイス制度



【インボイス制度（適格請求書等保存方式）】が、2023年10月から開始されます。いま、中小事業者やフリーランス（会社等に所属せず、仕事に応じて自由に契約する働き方）の方から、制度の中止を求める声が広がっています。

年間売上高が1000万円以下の事業者は、消費税の納税が免除されています。それは、事務作業や納税負担軽減のために、法律にのっとって行われているものです。



【図1】のように、納税事業者は現在、売上時に受け取った消費税「A」から、仕入時に支払った消費税「B」を引いた額「C」を納税します。インボイス制度が始まるとどうなるか…

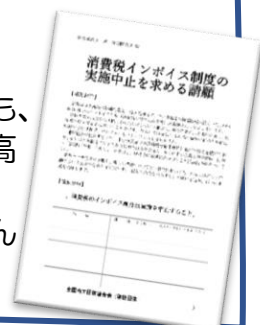


「B」を明らかにする請求書（適格請求書）が発行されないと、「A」を全て納税することになります。仕入業者が適格請求書が発行するか否かで、納税額が変わります。

仕入業者が免税業者の場合、適格請求書が発行できません。適格請求書には、課税事業者のみが与えられる登録番号の記載が必要だからです。適格請求書が発行できない免税事業者は、取引から排除されかねないのです。

現在の免税事業者は今後、①課税事業者となり、重い税負担に耐える②免税事業者のまま消費税分を値引きして続ける③取引を敬遠される可能性があっても、免税事業者のまま④廃業または給与所得者に転職するか、の選択を迫られます。

この制度は「下請けいじめ」と、多くの商業団体からも、中止や見直しを求める要請が高まり、署名も行われています。中小事業者を守るため、皆様のご協力もお願いいたします。



お金の使い方

これって 優先させるべきコロナ対策？



かつてないコロナの流行により、これまでも、国や都からコロナ対策として多くの交付金が市に支給されてきました。

そうした中で、私たち日本共産党市議団が「惨事便乗型（大惨事につけこんで実施されるもの）ではないか」と批判してきた市役所職員の机の入れ替えが、行われました。

市役所職員の机・椅子・キャビネット等の入れ替えです。「机がこんなに小さくなるなんて」「業務の効率が落ちる」「業務中に自分たちで入れ替え」市職員からは、不評の声がちらほら。

ペーパーレス化で、紙書類が少なくなるから省スペースでもよいとのことですが、まだまだ対応しきれていない現場です。

市は「机のサイズを小さくすることで風通しが良くなり、アクリルパネルの設置で飛沫対策もでき、感染対策として環境改善につながる」とのこと。



これらの予算はおよそ5,550万円。市民生活、事業者支援もまだまだ必要です。コロナ交付金を使って、職員さんの業務効率が落ちるような机の入れ替えをやっている場合でしょうか。



他にも、久米川駅南口駅前広場再整備のための駅前検討業務委託にも、コロナ交付金が使われています。

お金の使い方。皆さんはどのように思われますか？

